

諮問事項

変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか

課題1 地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくことが重要である。

| 検討事項 | 検討の方向性 | 対応策 |
|-----------------------------|--------------------------------------|---|
| 入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について | 1 団活動によりやりがいを持てる方策 | <input type="checkbox"/> 団員自身がスキルアップできる訓練の継続・防火防災訓練や救命講習指導による地域貢献・費用弁償の増額等による活動環境の改善 |
| | 2 各種教養講座等の拡充及び多様な主体との協働による地域密着型講習の推進 | <input type="checkbox"/> 既存資格取得の拡充：二級小型船舶操縦士養成講習や可搬消防ポンプ等整備資格者特例講習など、現行の講習の参加可能人員の拡充 <input type="checkbox"/> 新たな資格取得の拡充：消防設備士・危険物取扱関係・防災介助士・無人航空操縦士等、消防団活動に有効な新規講習の開設 <input type="checkbox"/> 既存講座の拡充：手話技能講習・消防団員教養講座(安全管理セミナー)・英会話技能講習・惨事ストレス対策団員講座 <input type="checkbox"/> 新たな講座の拡充：運動力アップ関係・災害時の避難行動関係・気象に関する基礎知識関係・コミュニティリーダーマネジメント関係 <input type="checkbox"/> 消防団協力事業所をはじめとした管内企業のノウハウを消防団活動に活かすための講習を行う <input type="checkbox"/> 防災設備系事業所：防火防災訓練において、消防設備等に関する基本的知識の普及啓発を行うためのスキルを身につける <input type="checkbox"/> 介護系施設事業所：災害現場で救助を必要とする要支援者に対する介助方法等を身につける <input type="checkbox"/> 自動車関係事業所：可搬ポンプ搬送車の安全運行要領の習熟 |
| 最新の技術等を考慮した活動環境の改善方策について | 1 DXの推進及び通信手段の強化 | <input type="checkbox"/> 災害への出場命令・専用アプリの導入 災害発生時の出勤要請や団員の出場可否、災害発生場所の地図表示・水利表示等をスマートフォンで情報共有できる消防団専用アプリの導入 <input type="checkbox"/> 団員間の情報伝達 低軌道衛星通信等を活用した通信手段の強化 災害現場等で団員間連絡手段として使用している特別区消防団専用無線機（MCA無線機）の配置数の拡大 |
| | 2 タブレット端末を活用した事務の効率化 | <input type="checkbox"/> 消防団員の技能管理 団員個々の訓練実績や技能等を管理できるシステムの導入 <input type="checkbox"/> 各種報告書類の管理 各種報告事務のデータ化による負担軽減 |
| | 3 各種資器材の更新に合わせた身体的な負担の軽減と活動環境の整備 | <input type="checkbox"/> 既存資器材の軽量化による負担軽減：【可搬ポンプ運搬車】運搬車後方に補助車輪を設定し、傾斜地や長距離搬送時の負担軽減 <input type="checkbox"/> 新たな資器材整備：【搬送資器材】折りたたみ式リアカー（担架設置式）・背負い式救助器具・フルスケッドストレッチャー 【遠距離送水】ホースブリッジ・救助ロープ・フルハーネス安全帯 【消防団施設】大型テント・蓄電池式ポータブル電源・ポータブル電源用ソーラーパネル 【訓練資器材】訓練用ダミー <input type="checkbox"/> 女性団員が活動しやすい環境の整備 女性の視点を踏まえた分団本部等の施設環境の整備 |

課題2 活動力を地域で発揮していくことで、地域住民の負託に応え続けることが重要である。

| 検討事項 | 検討の方向性 | 対応策 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---|
| 消防力維持のための計画的な人材育成方策について | 1 経験の浅い消防団員への教育訓練体制と訓練指導体制の強化 | <input type="checkbox"/> 消防団員の能力や経験値に応じた消防活動の習熟 配置されている各装備資器材の取扱いなど、各項目別に目標を明確化する（デジタル訓練日誌の導入や目標成果シートの作成） <input type="checkbox"/> フェーズ・任務別行動 火災出場時の活動全体を細分化し、各行動概要についてフェーズごとに訓練を行うことでの技能向上 <input type="checkbox"/> 長年の消防団活動で培った知識や技術を持った団員を「訓練指導者」として育成する研修の実施 <input type="checkbox"/> 統一的な指導を図るための訓練指導マニュアルの作成 |
| | 2 地域特性を踏まえた実動訓練 | <input type="checkbox"/> 平時の災害を想定した活動訓練 火災出場時の流れをイメージし、出場から現着、水利部署、ホース延長、残火処理等の基本的な消防活動を習熟させる段階的な訓練の実施 <input type="checkbox"/> 大規模災害（震災・水災）を想定した活動訓練 地域特性を踏まえ、倒壊した家屋からの救助・搬送訓練や、住民等を安全に避難させるための誘導訓練の推進 |
| 地域に尽力している消防団の認知度向上と社会情勢に応じた入団促進について | 1 将来を見据えた防災指導 | <input type="checkbox"/> 総合防災教育等の機会を捉え、若い世代の消防団への理解と浸透を深めていく |
| | 2 積極的な地域交流と地域コミュニティとの調和 | <input type="checkbox"/> 地域で開催される各種イベントにおいて、行政や教育機関と連携した消防団の入団促進や理解度の浸透を図る <input type="checkbox"/> 更なる入団促進に向けた消防団入団要件の見直し |